

露地・雨除けサクランボ特報 NO.6

JA 中野市営農センター
JA 中野市サクランボ部会

収穫終了後は、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために継続的に防除を実施してください。また、すでにハダニ類の発生が散見されておりますので、収穫終了後の散布は速やかに実施しましょう。

雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として

- ① 収穫終了後すみやかにビニールを除去
- ② 定期的に灌水
- を実施しましょう

1. 薬剤散布

＊隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

収穫終了後の散布（7月上～中旬）

散布薬剤：	（水100ℓ当り）	・散布日 7月	日・散布量	ℓ
展着剤	20mℓ			
コロマイト乳剤	100mℓ		（7日前、1回）	
トレノックスフロアブル	200mℓ		（21日前、5回）	
劇 スプラサイド水和剤	66g		（7日前、3回）	
＊対象病害虫：ハダニ類、褐色せん孔病、カイガラムシ類、ショウジョウバエ類、カメムシ類（ケムシ類）				
＊散布量：10a当り 600ℓ以上				
＊注意事項				
・トレノックスフロアブルに代えて、キンセツ水和剤80の1000倍（収穫後、3回）でもよい。 キンセツ水和剤80は、高温多湿時及び葉が軟弱な状態での散布は薬害（葉のせん孔等）生じる場合があるので注意する。薬害が心配される場合はクレフノン100倍を加用する。				

7月下旬（上記散布から14日後）

散布薬剤：	（水100ℓ当り）	・散布日 7月	日・散布量	ℓ
展着剤	20mℓ			
ダニゲッターフロアブル	50mℓ		（前日、1回）	
オキシラン水和剤	166g		（収穫後～落葉期、3回）	
サイアノックス水和剤	100g		（14日前、2回）	
＊対象病害虫：ハダニ類、褐色せん孔病、ケムシ類（ハマキムシ類）				
＊散布量：10a当り 600ℓ以上				
＊注意事項				
・カメムシ類、（ケムシ類）等が発生する場合は、劇 スプラサイド水和剤1500倍（7日前、3回）を加用する。				
・ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻に飛散すると不稔等の薬害を生じる場合があるので、飛散しないよう注意する。				

2. 礼肥（10a当り 目安） 施肥時期：収穫終了後～7月末
天然ボカシ5袋、 ニュー果じゅっこ1袋

劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください